令和 8 年 10 月記者会見

質疑応答の概要

①「街の幸福度&住み続けたい街ランキング 2026<東北版>」東北第 1 位

Q.

ランキング 1 位の結果を受けて、市長の感想やこの結果に繋がった要因をどう捉えているか、また今後に向けての思いなどをお聞かせください

A.市長

まず初めに、ほっとしているというのが正直な気持ちです。毎年このように、東北第 1 位の評価をいただいていると、順位が落ちたらどうしようといった不安もあるわけですが、今回も連続して東北第 1 位の高い評価をいただき、大変嬉しく思っているところです。このような高い評価をいただける 1 番の要因は市民力だと思っております。市民の皆さんが様々な活動に積極的に、生き生きと取り組まれている市民力の高さが本市の強みであり、このランキングに繋がっているのではないかと思っているところです。今後も、都市機能の強化に向けて行政が果たせることは鋭意努力してまいります。しかしながら、行政が全てのことをできる時代ではありませんので、様々な思いを持つ市民の皆さんが立ち上げたものを行政がサポートし、今後も「住みたくなるまち日本一」を目指して、市民の皆さんの声に応えながら各種施策に取り組んでまいります。

その他の質問

Q.

サイバー攻撃の件でお伺いいたします。プログラミング言語 PHP の脆弱性の件で、富谷市ではどのような対応をされているのでしょうか。

A.情報デジタル化推進室長

現在、全国的に PHP の重大な脆弱性が公表されてプログラムの修正が求められているところですが、本市としては、脆弱性が公表された翌日 10 月 22 日、全庁的に影響を及ぼすシステム等がないかということで一斉調査を行いました。その中で利用制限となったシステムが一部ございまして、2 つのシステムが現在調整中でございます。実際に影響のあったシステムですが、市公式ホームページのトップページからリンクで紐づいております富谷宿観光交流ステーション「とみやど」のホームページ、奥州街道宿場町「富谷しんまち」のホームページでございます。2 つともいずれ復旧の見込みでございますので、大きな行政サービスへの影響などはないものと考えております。

Q.

先日、安全安心メールがサイバー攻撃を受けたと思いますが、今後、サイバー攻撃に対して、

市としてどのような対策を考えていますか。

A.情報デジタル化推進室長

不正アクセスによる情報漏洩の事案が相次いでいることから、国からサイバーインシデント対応の指針が発表され、速やかな対策が求められておりますので、システムの関係事業者等と連携を深めて、不測の事態があった場合に、いち早く対応できる体制づくりを周知徹底しているところでございます。

Q.

先日、石巻市で職員の軽装勤務を通年化する試みが発表されましたが、富谷市においても同様の取組を検討はされているのでしょうか。

A.市長

石巻市の取組は、報道を通して私も認識しておりましたが、一つの取組としてよろしいのではないかと思っております。本市におきましては、毎年業務改善に繋がる様々な提案を、職員からいただく取組を実施しておりますが、そういった声は今のところ出て来ていないこともあり、検討しておりませんでした。しかし、職員からの声や他自治体の取組も踏まえながら、今後必要に応じて、検討していきたいと思っております。